



学びの庭

学校教育目標

自ら学ぶ生徒 人を尊ぶ生徒 自ら鍛える生徒

生きるとは？ (7/8~12 寄居中「命を大切にす週間」)

(略) さて、皆さんは、命は大切だと思いますか？今日の朝会は、「生きることの意味」について考えてもらいます。大事なことなので、短時間ですが真剣に考えてください。

まず、時間が限られていますので、簡単に教材文の内容を確認していきます。この教材文でわかったことは、主に次の3つです。内容の前に、赤ちゃんが生まれたときに初めて出す声を産声ということは、押さえておきましょう。1つめは、今の皆さんは、自分の力でできること(話す、歩く、食べる等ごく自然にできることも含む)がたくさんありますが、「産声は、初めて自分の力でできたことですし、生まれた瞬間に唯一できること」です。2つめは、「産声をあげることは、自分の力で、生きることを選び取るということ」です。産声は、いくら誰かがお手伝いをしようと思っても、赤ちゃん自身の生きようとする力がなければ、どうすることもできないのです。3つめは、「赤ちゃんは、生きる力をしっかりもち備えて生まれてきたということ」です。赤ちゃんは、お母さんのお腹の中にいるとき、胎盤を通して酸素を取り込んでいます。生まれると同時に肺で呼吸していかなければなりません。このときの大人でももち合わせていないような、とてつもないエネルギーが必要なのです。つまり、皆さんも生死を分けるほどのすごいことを、自分の力で成し遂げて生まれてきているのです。以上がこの教材文の内容です。

私は、特に、産声が赤ちゃんの命がけの行動だったということが印象に残っています。ここで、産声を聞いて、それを確認していきましょう。(産声を聞く)どんなことを感じましたか？教材文の中で産声は、赤ちゃん自身の「生きようとする力」つまり、「生きる力」をもって生まれてきたとありましたが、「生きる力」とは、どういうものでしょうか？では、近くの人と学び合いをお願いします。(学び合いタイム → 意図的指名)例えば、呼吸をする力や食べる・飲む力、動き回る力、諦めない力、成長しようとする力などが考えられます。教材文の最後に思春期の皆さんへのメッセージがあります。このメッセージは、不安や悩みがあってもそれを乗り越える素晴らしい能力とたくましい生命力をもち備えて生まれてきているから心配しなくても大丈夫というものです。この「生きる力」は、これからたくましく生き抜いていくための土台となっているものではないかと思いました。

では、「生きる力」をもち備えて生まれてきた皆さんは、現在、中学生として、「生きる」とはどういうことを考えてみてください。近くの人と学び合いをお願いします。(学び合いタイム → 意図的指名)教材文の後半部分に「あなたがいるだけで、周りのみんなにも生きる喜びと幸せをもたらすことができます。あなたは、そんな計り知れない力を持っているのです。」とあります。皆さんは、全員、命がけで生まれてきたのですから、その存在だけで生きている価値があるということです。皆さんの家の人にとっては、「生きているだけでありがとう」と思っているはずですが、生きていけば、必ず心配なことや悩むことが現れてきます。皆さんは、それを乗り越えて、10年以上も頑張っているということになります。これからもきっと心配なことや悩むことが現れてきます。このような時は、ぜひ思い出してください。自分は、命がけで生まれてきたということ。これ以上の試練はありますか？今の心配や悩みは命を懸けるようなことですか？そして、命がけで生まれてきた皆さんは、これからの苦しみや辛いことを乗り越えられる力をもち備えているのです。皆さんが思っているほど、思った通りにならないことの方が多いと思います。もし、自分では、苦しみや辛いことから解決できない状況になったら、赤ちゃんが、「オギャー」と命の輝きを叫ぶように、家の人や先生、友達など周りの人に相談してください。きっと解決策が見つかるはずですが、回り道と思わず、周りの人たちの力を借りながら一つ一つ解決していけばいいのです。生きている限り、修正できるのです。

さらに、生きるとは、もち備えている「生きる力」を今以上に高めるといことも考えられると思います。現に、この中には、勉強や部活動を頑張っている人がたくさんいます。力は、使わなければ弱くなり、鍛えれば強くなるものです。生まれてきたときにもち備えている「生きる力」は、皆さんの今後の行動次第でいくらかでも変化していくものだと思います。毎日努力することは、想像できないような心の強さと底知れぬ体力が必要です。時には、怠けることもあってよいと思います。でも怠け続けると弱くなってしまいう力があるので気をつけましょう。

最後になりますが、皆さんは、命は大切だと思いますか？それは、なぜですか？この教材を読む前であれば、よく聞く考えとしては、「命は1つしかないから」や「先生方や家族から教えてもらったから」、「生まれてきたことが奇跡だから」、「命は続いているから」などがあげられます。では、今の全校道徳授業を受けて、命が大切な理由を考えてください。この理由によって、皆さんのこれからの中学校生活がより前向きになると信じています。今週中にプリントに記入して担任の先生に提出してください。よろしくをお願いします。もし、「命は大切だと思っていない」と考えている人がいましたら、心配ですので、この朝会后、先生方が話を聞きます。寄居中学校の生徒の皆さん、命を無駄にしないでください。生きることを選び取り、命がけで生まれてきたのですから、これからも、自分の命を大切に、より一層命を輝かせてください。

第3学年 修学旅行(6月31日~7月2日)

第3学年が京都・奈良方面へ修学旅行に行つて来ました。スローガンを「古都の世界で歴史を味わえ ~心に刻む習楽良功~ in 京都・奈良」と掲げ、有意義な旅を満喫してきました。実行委員を中心に事前学習をしっかりと行い、当日は様々な約束事を守つて、友達との絆をさらに強めることができました。



奈良・東大寺にて



京都・平等院鳳凰堂にて

メアリズビル市から留学生来校(6月11日)

寄居町はアメリカ合衆国オハイオ州メアリズビル市と2013年に友好宣言書を交わし、中学生の海外相互交流を行っています。今年メアリズビル市からの学生を迎え、町内の中学校で体験授業に参加しました。本校では美術科の井出教諭が、水墨画の指導を行いました。学生は慣れない筆遣いながらも、一生懸命に作品づくりに励んでいました。また、本校生徒の手ほどきで、剣道(武道)体験も行いました。



生徒総会(6月12日)

生徒総会は生徒の自治的活動の基礎を培い、生徒会活動全般に誇りと責任を持たせるために行います。事前に議案書をもとに学級討議を開催し、質問や意見を出し合いました。総会では活発な発言があり、これからもさらに良い寄居中学校を、生徒の力で築いていく思いを共有することができました。



学校総合体育大会地区予選(6月20日~)

3年生運動部にとって最後の大会が各地で行われました。これまでの精進の成果を十分に発揮して、健闘しました。御声援・御支援ありがとうございました。県大会出場のみなさんおめでとうございます。(各部活動の結果の詳細は、後日別途お知らせいたします。)

3校合同あいさつ・花いっぱい運動(6月25日)

寄居中学校・桜沢小学校・寄居城北高等学校の生徒代表が、PTA役員の協力を得て、恒例のあいさつ・花いっぱい運動を行いました。朝は桜沢駅で元気なあいさつ、夕方は高校で花植えをしました。花を植えたプランターは寄居中学校区の郵便局に置かせて頂いています。

7月行事予定

日	曜日	行事
1	月	期末テスト 部活なし
2	火	期末テスト 学校運営協議会 部活なし
3	水	期末テスト 生徒会の日 部活なし
4	木	3年進路説明会 部活あり PTA 交通安全指導
5	金	漢字検定(放課後)
6	土	より・E土曜塾
7	日	
8	月	職員会議・研修
9	火	全校朝会 特別支援学級合同学習会
10	水	学年朝会
11	木	学校保健委員会 部活休養日
12	金	町PTA家庭教育委員会講演会
13	土	より・E土曜塾
14	日	
15	月	海の日
16	火	表彰朝会 選挙管理委員会
17	水	期末短縮 給食最終日 安全点検日
18	木	期末短縮 部活休養日
19	金	終業式 職員会議・研修 部活なし
20	土	より・E土曜塾
21	日	
22	月	夏季休業日(~8/31) 3者面談
23	火	3者面談
24	水	職員研修(3者面談なし)
25	木	3者面談
26	金	3者面談 PTA常任委員会・環境整備委員会 17:00
27	土	より・E土曜塾
28	日	
29	月	職員研修(3者面談なし)
30	火	3者面談
31	水	3者面談
8月11日(日)~16日(金) サマーリフレッシュウィーク		
9月		
1	日	
2	月	始業式 生徒会役員選挙公示
3	火	避難訓練 給食開始
4	水	
5	木	中3実力テスト 資源回収事前指導 PTA交通安全指導(社会を明るくする運動)
6	金	
7	土	資源回収 より・E土曜塾
8	日	

